



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 東京製綱株式会社

コード番号 5981 URL <http://www.tokyorope.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 蔵重 新次

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長

(氏名) 佐藤 和規

TEL 03-6366-7777

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	31,728	2.8	932	—	622	—	760	—
25年3月期第2四半期	30,860	△14.2	△2,362	—	△2,558	—	△2,769	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 348百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △3,193百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.23	—
25年3月期第2四半期	△19.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	82,552	12,001	12.1
25年3月期	82,944	11,796	11.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,977百万円 25年3月期 9,737百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	5.7	2,500	—	1,800	—	1,500	—	10.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)当四半期累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)当四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)四半期連結財務諸表作成に係る会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示になります。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	162,682,420 株	25年3月期	162,682,420 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	17,484,834 株	25年3月期	17,477,279 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	145,201,981 株	25年3月期2Q	145,216,703 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、金融緩和による円高是正や政府による経済対策の効果、また公共投資の増加等により緩やかな景気回復が見られました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、国内・海外で鋼索鋼線、開発製品事業の受注・売上が堅調に推移し、31,728百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

利益面では、前連結会計年度において事業構造改革費用を計上したスチールコード事業での固定費削減効果に加え、鋼索鋼線・開発製品事業での売上増等により、営業利益は932百万円（前年同期は2,362百万円の損失）、経常利益は622百万円（前年同期は2,558百万円の損失）となりました。四半期純利益は特別利益に投資有価証券売却益267百万円を計上し、760百万円（前年同期は2,769百万円の損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### （鋼索鋼線関連）

国内向けロープの販売数量は各分野において前年同期に比し増加し、ワイヤ製品、海外向けエレベーターロープも堅調に推移しております。

その結果、当事業の売上高は13,970百万円となりました。

#### （スチールコード関連）

国内においては、タイヤコード・ソーワイヤともに生産体制縮小の影響で売上は前年同期に比し減少しております。海外においても、タイヤコードの売上は数量・単価ともに前年同期を下回っております。

その結果、当事業の売上高は7,922百万円となりました。

#### （開発製品関連）

道路安全施設の売上は、ロシア向けをはじめとして前年同期を上回りました。また国内においては、年度後半に向けて受注残が増加しております。

その結果、当事業の売上高は5,284百万円となりました。

#### （不動産関連）

売上高はほぼ前年同期並みの590百万円となりました。

#### （その他）

粉末冶金製品と産業機械（自動計量機・包装機）で売上が伸び悩み、売上高は3,961百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### （資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に売掛金の減少により、前連結会計年度末と比べ392百万円減少の82,552百万円となりました。

負債については、仕入債務の減少により、前連結会計年度末と比べ596百万円減少の70,551百万円となりました。

純資産については、四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末と比べ204百万円増加の12,001百万円となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ1,811百万円減少し、3,652百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは売上債権の減少等により、290百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得等により、1,605百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローはリース債務の支払等により、81百万円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降の事業環境は、復興・防災対策やインフラ老朽化対策等で公共事業予算が増額され、主に鋼索鋼線・開発製品事業において当社グループの製品が貢献する機会が広がるものと期待しております。

平成26年3月期の業績は堅調な受注を背景に、前回予想で想定した売上・利益を上回る見通しであり、平成25年5月10日付「平成25年3月期 決算短信」にて公表した通期業績予想を上方修正いたしました。

詳細につきましては、本日別途公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、及び平成26年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,499	3,714
受取手形及び売掛金	15,733	14,095
商品及び製品	4,608	5,252
仕掛品	3,853	4,369
原材料及び貯蔵品	3,705	4,157
その他	2,226	2,945
貸倒引当金	△199	△257
流動資産合計	35,427	34,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,943	8,733
機械装置及び運搬具(純額)	4,754	4,708
土地	19,862	19,862
建設仮勘定	150	1,439
その他(純額)	1,448	1,387
有形固定資産合計	35,159	36,132
無形固定資産	318	318
投資その他の資産		
投資有価証券	8,055	7,943
繰延税金資産	1,543	1,436
その他	4,229	4,088
貸倒引当金	△1,802	△1,654
投資その他の資産合計	12,025	11,813
固定資産合計	47,503	48,264
繰延資産	12	9
資産合計	82,944	82,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,354	12,397
短期借入金	29,061	17,452
未払費用	2,998	3,000
賞与引当金	781	670
その他	3,716	3,554
流動負債合計	49,912	37,075
固定負債		
長期借入金	7,142	19,880
再評価に係る繰延税金負債	5,326	5,326
退職給付引当金	4,285	4,152
その他	4,480	4,115
固定負債合計	21,235	33,475
負債合計	71,147	70,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,074	15,074
資本剰余金	8,574	8,574
利益剰余金	△22,058	△21,394
自己株式	△3,272	△3,273
株主資本合計	△1,682	△1,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	975	1,248
土地再評価差額金	10,009	10,009
為替換算調整勘定	435	△261
その他の包括利益累計額合計	11,420	10,996
少数株主持分	2,059	2,024
純資産合計	11,796	12,001
負債純資産合計	82,944	82,552

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	30,860	31,728
売上原価	27,528	26,041
売上総利益	3,331	5,687
販売費及び一般管理費	5,693	4,754
営業利益又は営業損失(△)	△2,362	932
営業外収益		
受取利息	12	37
受取配当金	103	215
為替差益	—	132
貸倒引当金戻入額	4	234
その他	128	222
営業外収益合計	249	843
営業外費用		
支払利息	268	437
為替差損	89	—
資金調達費用	—	579
その他	87	136
営業外費用合計	445	1,153
経常利益又は経常損失(△)	△2,558	622
特別利益		
投資有価証券売却益	0	267
特別利益合計	0	267
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	1
事業構造改革費用	855	—
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	244	—
その他	9	—
特別損失合計	1,109	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,666	887
法人税等	△756	115
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,910	772
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△140	12
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,769	760



【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,910	772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△487	273
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	188	△982
持分法適用会社に対する持分相当額	16	285
その他の包括利益合計	△282	△423
四半期包括利益	△3,193	348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,076	336
少数株主に係る四半期包括利益	△117	12

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,666	887
減価償却費	1,658	831
賞与引当金の増減額(△は減少)	△123	△110
退職給付引当金の増減額(△は減少)	43	△133
支払利息	268	437
受取利息及び受取配当金	△116	△252
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△267
投資有価証券評価損益(△は益)	244	—
事業構造改善費用	855	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,809	2,211
たな卸資産の増減額(△は増加)	146	△1,214
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,300	△1,519
前受金の増減額(△は減少)	38	560
その他	△265	△670
小計	1,593	759
利息及び配当金の受取額	116	284
利息の支払額	△270	△432
役員退職慰労金の支払額	△5	△92
法人税等の支払額	△272	△228
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,161	290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△7	△492
投資有価証券の売却による収入	3	802
貸付けによる支出	△63	△109
貸付金の回収による収入	68	53
有形固定資産の取得による支出	△1,345	△1,824
有形固定資産の売却による収入	651	14
その他	△43	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△736	△1,605

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,249	△13,319
長期借入れによる収入	270	19,372
長期借入金の返済による支出	△453	△5,835
配当金の支払額	△361	△2
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1	△1
リース債務の返済による支出	△293	△293
財務活動によるキャッシュ・フロー	411	△81
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	△724
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	792	△2,120
現金及び現金同等物の期首残高	1,822	5,463
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	309
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,614	3,652

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	不動産 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,211	8,367	4,570	591	26,740	4,119	30,860	—	30,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64	—	90	—	154	552	707	△707	—
計	13,276	8,367	4,660	591	26,895	4,671	31,567	△707	30,860
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	557	△2,808	△433	194	△2,490	127	△2,362	—	△2,362

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	不動産 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,970	7,922	5,284	590	27,767	3,961	31,728	—	31,728
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	22	103	—	232	356	589	△589	—
計	14,076	7,945	5,387	590	27,999	4,318	32,318	△589	31,728
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	832	△485	254	188	790	142	932	—	932

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械事業、粉末冶金事業及び石油事業を含んでおります。